

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部法律経済学科
学年(出発時)	4年
大学名	セントラルランカシャー大学
国	イギリス
留学期間	2023年9月～2024年1月 (4か月(1 semester))
派遣先での身分	学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	授業
11:00	授業
12:00	授業
13:00	昼食
14:00	授業
15:00	授業
16:00	友人と過ごす
17:00	
18:00	
19:00	帰宅・夕食
20:00	
21:00	
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Study Overseas Programme	5		英語	英語のエッセイの書き方や、イギリス・ブレストンの食文化や地元文化についてのグループワーク形式授業。最終評定は語学試験、エッセイ、プレゼンで評価。
English and EU Law	2		英語	イギリス・EUの法律についての講義形式の授業が週1回、ディスカッションの授業が週1回の計週2回の授業。

大学のサポート	
チューターの有無	なし
チューターのサポート内容	なし
語学コースの有無	あり
コース名、料金、期間等	Study Overseas Programmeに加えて、Free English Class(free)があり、授業がcaぶっていない限り参加可能。

生活	
住居のタイプ	学生寮
住居の名前	Ribble Hall
部屋タイプ	1フラットに1人部屋×6部屋
ルームメイト(国籍)	日本、韓国、フランス、イギリス
室内設備	ベッド(お願いすれば布団・枕が借りられる)、机、引き出し、洗面所
共用施設	キッチン、シャワー、トイレ
インターネット設備	学内Wi-Fi
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩
アルバイトの有無	なし
アルバイトの内容	なし

渡航	
Visaの種類	なし
Visa申請先	
Visa取得にかかった日数	
Visa取得にかかった費用	
Visa取得方法、提出書類等	
留学先大学の最寄り空港までの経路	到着時は大学の送迎バスを利用。帰国時は電車でマンチェスター空港まで行く予定でしたが、ほとんどキャンセルになってしまったため、振替バスを利用。
渡航費用	往復約36万円
ピックアップサービスの有無	あり

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	あり
有る場合、その理由	就活時期を考えた結果。
就職活動開始時期	帰国後
帰国後の進路	未定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	£1＝178～180円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約9万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	なし
宿舍費(月額)	約3万円
光熱費(月額)	なし
食費(月額)	約2万円
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	約100万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

授業では最終的に1200字のエッセイを提出するのですが、そのために必要な論文等の文献の探し方から参考文献リストの書き方、フォーマルな書き方など、細かく指導してもらいました。最初は英語で1200字のエッセイが書けると思えなかったのですが、最終提出までに2回フィードバックをもらうことができるため、そのフィードバックを参考に無事提出することができました。私の場合は、三重大大学のゼミ以外の授業内で論文の書き方について詳しくやったことがなかったもので、イギリスの形式と日本の形式の違いはありますがとても勉強になりました。また、Study Overseas Programmeは語学コースなので、先生方はわかりやすく話してくれ、とてもありがたかったです。

授業は基本的にディスカッション形式で行われ、グループ内で決められたテーマについて話すことが多かったです。日本では講義形式の授業がほとんどだったため、留学中は自分の意見を発する機会にたくさん触れることができ、新鮮だと感じました。ためらわずに自分の意見を口にすることができるようになったと思います。

生活面では、渡航前は正直アジア人差別等感じるのかなと思っていましたが、実際はほとんどそういったことはなく、基本的に楽しく生活することができました。プレストンの町の雰囲気としては、学生街ということもあり、さまざまな国籍を持った人がたくさんいたイメージです。また、基本的には夜歩いても危険を感じることはなく、治安のいい場所でした。そのため、ひとりでも積極的に行動することができ、英語を話す回数を増やすことができたと思います。女性一人でも安心してひとりで行動できるという点については、留学先を選ぶのに非常に重要な要素だと感じました。また、留学中は様々な国籍の方と話すことができ、例えば中国は日本と全く異なる政治体制の国ですが、話していて気づくことがたくさんありありました。自分が育ってきた中で身に付けた常識が、他の人にとって常識ではない場合があることを前向きにとらえられるようになりました。

今後留学する人へのアドバイス

語学試験やビザ関係の手続等はできる限り早めにやっておくべきだと思います。思わぬトラブルや、相手校との時差などによって、自分の思い通りのスケジュールで動かないことが多々あるので、その点を考慮して行動するのが大切だと思います。個人的な感想として、留学中よりも留学前の準備の方が大変でした。また、私の友人の中には、空港到着時に電車で大学まで行くつもりが、電車がキャンセルになっており使えなかったという人がいたので、一応2種類くらいの交通手段を念頭に置いておいた方が良いでしょう。また、買い物はほとんどクレジットカードでできるので、現金がなくても生活できますが、友人と割り勘をしたり、キャッシュオンリーの飲食店がたまにあったりと、意外と現金は使ったので、多少多めに持って行っても問題ないと思います。留學生活自体はとても楽しかったので、トラブルも経験だと思って楽しんでいただけたらいいなと思います。

報告書記入日

2024年1月25日